

授業科目 臨床実習 III(義肢装具)

【担当教員名】 笹本 嘉朝、前田 雄、 義肢装具自立支援学科教員全員		対象学年	4	対象学科	義肢
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	5	時間数	225
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○		○	○	◎	
【概要・一般目標：GIO】 義肢装具士の業務や役割について学ぶために、義肢装具製作施設で臨床実習を行う。本実習を通して、学内で学んだ知識や技術について確認し、臨床における様々な疾患や義肢装具に触れ、専門職としての知識や技術をより深める。また義肢装具士の業務に関わる専門職との連携についても学び、義肢や装具が疾患のある方や障がいのある方にどのように役立ち、彼らの治療や生活を支えているか、理解を深める。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 臨床実習 II の意義について説明できる。 2. 義肢装具士の業務と役割について説明できる。 3. 実習先の施設概要について理解する。 4. 関わった疾患のある方や障がいのある方の義肢装具について説明できる。 5. 義肢装具士の業務に関わる専門職について説明できる。 6. 実習レポートを作成、報告することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション			1	学内
2	義肢装具製作施設における実習（5週間）			2～5	学外（実習指導者）
3	報告書作成			6	学内
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		なし			
参考書		なし			
その他の資料		配付資料：臨床実習 III の手引き			
【評価方法】 総合評価とする。評価項目＝1. 実習施設評価表（実習施設の指導者による評価）、2. 臨床実習報告書（学生が提出するレポート）、3. その他（学習態度、欠席回数など）原則、実習の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。				【履修上の留意点】 「臨床実習 III を履修するための基準について」に定められているすべての科目の単位を修得していなければ、履修することができない。	